

令和7年度 こども園における自己評価 八尾市立南山本せせらぎこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の成果や課題、新年度の子どもの実態を共有し、教育・保育計画を作成している。 ・年度当初に、目標や取り組みについて職員全体で共有し、実践につなげた。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム作成前に学年会議をもち、子どもの育ちや学びを共有し、次月の保育内容の充実につなげた。 ・カリキュラム会議では、各学年の実態や課題について共有し、一人ひとりの子どもの姿を全職員で共有し日々のかかわりへとつなげている。 ・各クラスが、子どもの興味・関心に応じた遊びを展開し、意欲的に生活や遊びをする姿につなげた。 ・一人ひとりの子どもの生活や遊びへの意欲が高まるようなかかわりを心がけ、自ら生活や遊ぼうとする姿につなげた。 ・クラスの友だちの存在を知ったり、思いを通じ合わせたりしながら共に生活する楽しさを味わえるような保育者のかかわりを心がけ、子ども同士のつながりを広げた。 ・乳幼児期の大切さについて、職員間で共有し、子どもの人権尊重への意識を再確認した。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4		

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・食育指導や保健指導を通して、子ども自身が健康な体への興味関心をもち生活しようとする意欲を高めていく。また、園の取り組みを家庭に発信し、園と家庭と共に子どもの健康な体や生活づくりを行っていく。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員の 資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	3	・希望する研修に参加できるように体制を整えていく。また、保育者の資質の向上に必要な情報は、全体で共有できる機会をつくっていく。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	3	
職員 運営管理について	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	・データでの共有、口頭での伝達を必要に応じて使い分け、効率のよい会議をめざしている。園運営の見直しをもち、共有内容の充実を図っていく。
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務 の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	・公文書や毎月の各表簿など記載漏れの内容、確認を行っている。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・八人研夏季分科会では、小学校への滑らかな接続につながる機会となるよう、園の取り組みを発信した。 ・小学5年生との交流機会をもつことができた。次年度更によりよい交流となるよう反省を活かしていく。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	3	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	3	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	3	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・保護者の悩みに寄り添い、各家庭の状況把握に努め、個々に応じた手立てを行っていく。 ・こども園を利用する子ども一人ひとりの姿を見守り、親子共に安心して利用できるように心がけていく。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	3	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	3	・園生活の様子、子どもの学びや育ちの発信方法について模索し、次年度の実践につなげる。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	3	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	・保護者アンケートを実施し、園運営を振り返り、職員で共有している。
・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか		4		
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・点検シートを活用し、毎月1回園内を巡視したり、遊具の安全点検を行っている。 ・不審者侵入予防や、侵入した場合の職員の対応など、色々なケースを想定して訓練を行っている。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4		

成果

- ・令和7年度は、居心地のいいこども園 ～みんなちがってみんないい～を研究テーマにかかげ、自分らしさを発揮しながら生活や遊びを楽しむための保育者の援助や環境構成、子どもの育ちや学びを保育者間で共有し、保育の質の向上に努めた。
- ・八尾市人権教育研究会夏季分科会では、5歳児の実践を報告した。こども園や小中学校の先生と子どもの育ちについて意見交流を行い、こども園・小・中学校における子どもの育ちの連続性や育ちの保障についてそれぞれの役割を再確認する機会となった。
- ・5歳児対象の多文化保育プログラムでは、ガーナの国の方から、民族音楽や、衣装、世界の国の名前や国旗、挨拶や言葉などを音楽や遊びを通して教えていただいた。一緒に過ごす時間を楽しみ、知らない国への興味関心を広げていた。また、SDGs・環境配慮における講座や、ごみの分別について話をきき、日々の生活の中で自分たちができることを確認し、様々な材料や自然環境を大切にしようとする意識につなげた。
- ・季節の野菜の栽培、収穫したものを食べることの喜びや『食』への興味関心が広がった。
- ・地域の公園、近隣の小学校、図書館への訪問など様々な施設を活用させてもらい地域への興味関心と共に経験を広げることができた。経験したことが遊びへとつながった。
- ・保健指導や栄養指導、給食の手伝いなどで、健康な体づくりにつながる知識や体験を重ねてきた。基本的な生活習慣の自立に向け、一人ひとりの子どもの育ちに応じたかかわりを行ってきた。また、各活動を通して、様々な職員とのつながりも生まれている。

課題

- ・こども園の教育・保育の質の向上をめざして、教育・保育の研究に取り組んでいるが、発達段階に応じた生活・遊び環境の充実や一人ひとりに応じた援助など今年度の学びを活かしながら乳幼児期の大切さを発信したり、保護者と子どもの姿を共有したりしながら子どもの育ちを保障し、居心地よくこども園を利用していただくこと。
- ・緊急時に備え、避難訓練を行っている。様々な場面・時間などこども園で予想される状態を想定し、職員の連携を確認し、避難訓練の質が向上できるよう見直していく。

改善策

- ・保育者同士で意見を出し合い学び深めていきたい内容に応じた研究を進めていく。園内研、事例研、また日々の実践を振り返り気づきを共有していく。
- ・体制を整え、それぞれの保育者が学びたい研修に参加することや、学んだことを共有する時間を確保していく。
- ・保育者との日々のかかわりを大切にしながら、ホームページや玄関での掲示、ポートフォリオ、学級懇談会などで保育・教育のねらいや意図を伝え、子どもの育ちを共有できる機会を増やしていく。
- ・各保育者が、災害対策への想定を広げ、周りの保育者と話し合いながら避難時の行動を考え防災訓練を実施する。